

## 4. 会誌及び著書の出版

### 4-1 広報委員会

当協会の目的達成に必要な各種の情報及び事業活動に関する情報を関係者に積極的に広報することを目的として、継続設置（委員長：今泉 忠、多摩大学）されている。年間4回の機関紙「大学教育と情報」を発行する他に、大学関係者に広域的に伝達するためホームページに事業活動の広報を掲載している。

#### (1) 会誌「大学教育と情報」の発行

本年度は、「Vol.15 No.1号」から「Vol.15 No.4号」を発行した。発行部数は、19年3月末日現在、全国の私立大学・短期大学・当協会賛助会員、関係省庁及び関係団体・関係機関を中心に20,500部となっている。編集は、読者に魅力ある会誌となるよう、次の点を基調として発刊している。

- ① 教育改善のためのファカルティ・ディベロップメントの参考となるよう、IT活用も含めた教育方法の工夫・改善、教職員一体となった教育改革、組織的な教育支援の取り組みなど、教育改革を実現するための情報誌として活用されるよう座談会など編集企画を工夫する。
- ② 社会情勢に照らし、より多くの大学関係者が認識すべき喫緊の話題、問題などを「特集」として取り上げ、随時、情報提供する。
- ③ 組織としての教育支援やIT活用の取り組みとして、IT活用教育と支援環境について、「教育支援環境とIT」として継続して掲載する。
- ④ 学系別教育におけるIT活用事例を継続して紹介する。

#### (2) 会誌「大学教育と情報」Vol.15 No.1～No4の掲載内容

以下に、18年度に4回発行の内容を掲載する。

##### 【大学教育と情報 Vol.15 No.1】

- ・巻頭言「逆IT格差を克服する」 布施 晶子
- ・特集「座談会 教育改善のための教育力とは」 服部 陽一、他3名
- ・教育事例紹介：薬学
  - 「e-Learningを利用した自学自習支援システム」 梶原 正宏
  - 「グループによるプレゼンへの取り組みと他大学・医療現場との遠隔授業の試み」 佐藤 憲一、他3名
  - 「TDM教育のためのサイバキャンパスシステムの構築」 松山 賢治

- 「ITを活用した薬剤師国試対策学習支援」 村上 悦子、他2名
- ・教育支援環境とIT 阪南大学／中央学院大学
- ・私情協ニュース
- ・賛助会員日より
- ・翻訳「2004年版米国高等教育機関における実態調査  
Core Data Service Fiscal Year 2004 Summary Report」

【大学教育と情報 Vol.15 No.2】

- ・巻頭言「見えてなければならないもの」 阿久戸 光晴
- ・特集「教育改善のための教育・学習支援」  
「創価大学 教育・学習活動支援センター（CETL）による教育・  
学習支援への取り組み」  
「大学のユニバーサル化と学習支援の組織的な取り組み ～関西国際大学～」  
「ラーニングテクノロジーを活用した授業改善の支援と普及 ～帝京大学～」
- ・教育事例紹介：メディアアート（音楽、CG）  
「MIDIによるリリカルサウンド制作演習とWebデータベースの活用」久原 泰雄  
「wikiを活用した学習実践」 佐野 彰  
「Processingを活用した数式表現図形の教育」 武村 泰宏
- ・教育支援環境とIT 城西国際大学／金城学院大学
- ・投稿「学内LANによる視覚教材の配信と病理診断学での学習効果  
佐藤かおり、他2名
- ・文部科学省ニュース
- ・私情協ニュース
- ・翻訳「2004年版米国高等教育機関における実態調査  
Core Data Service Fiscal Year 2004 Summary Report」

【大学教育と情報 Vol.15 No.3】

- ・巻頭言「第2フェーズの大学IT教育」 山下 興亜
- ・特集「教育改善のための教育・学習支援」  
「個別指導予約システムによる学習支援と教育改善 ～工学院大学～」  
「教育刷新：修道スタンダードの確立に向けて ～広島修道大学～」  
「FDの組織化はどこまで可能か：大学教育改善のための実践例 ～大同工業大学～」
- ・教育事例紹介：国際関係学  
「国際関係学教育の昨日・今日・明日 ～国際関係学教育の  
ミヤケマイを目指して～」 清水 亮  
「国際関係学のアクティブラーニングにおけるICT活用の可能性と課題」  
毛利 勝彦  
「システムを利用したグローバル・シミュレーション・ゲーミング  
～立命館大学国際関係学部における事例～」 丸岡 律子
- ・教育支援環境とIT 実践女子大学／園田学園女子大学